

みらい



観音寺 小町桜

審議議案と議決結果



会 期：1月15日（1日間）
審議議案等：計1件（市長提出議案：1件）

令和7年第1回1月臨時会

補正予算 1件

令和6年度潮来市一般会計補正予算（第8号）

可決



会 期：3月4日～25日（22日間）
審議議案等：30件（市長提出議案等：29件、議員発議：1件）

令和7年第1回3月定例会

条例改正 11件

潮来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

可決

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

可決

潮来市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

可決

企業職員の給与の種類及び基準に関する条例等の一部改正について

可決

潮来市職員の育児休業等に関する条例及び潮来市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

可決

潮来市国民健康保険税条例の一部改正について

可決

潮来市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び潮来市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部改正について

可決

潮来市水道事業給水条例の一部改正について

可決

潮来市手数料徴収条例の一部を改正する条例の一部改正について

可決

潮来市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

可決

潮来市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

可決

予算・補正予算 13件

令和6年度潮来市一般会計補正予算（第9号）

可決

令和6年度潮来市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）

可決

令和6年度潮来市介護保険特別会計補正予算（第4号）

可決

令和6年度潮来市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

可決

令和6年度潮来市水道事業会計補正予算（第2号）

可決

令和6年度潮来市下水道事業会計補正予算（第2号）

可決

令和7年度潮来市一般会計予算

可決

令和7年度潮来市国民健康保険特別会計予算

可決

令和7年度潮来市介護保険特別会計予算

可決

令和7年度潮来市後期高齢者医療特別会計予算

可決

令和7年度潮来市水道事業会計予算

可決

令和7年度潮来市工業用水道事業会計予算

可決

令和7年度潮来市下水道事業会計予算

可決

同意 2件

潮来市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて

同意

潮来市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

同意

その他 3件

開業資金等貸与契約の締結について

可決

工事請負契約の締結について（潮来小学校体育館改修工事）

可決

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

適任

議員発議 1件

潮来市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について

可決

▼賛否が分かれた案件

■令和7年度潮来市一般会計予算

○＝賛成

×＝反対

※16番小峰議員は、議長のため採決には加わりません。

結果	1 黒須 俊行	2 鴛田 正信	3 吉川 利一	4 和田 直子	5 佐々 木徹	6 志村 一	7 石田 裕二	8 阿部 慶介	9 兼平 直紀	10 飯田 幸弘	11 平田 健三	12 箕輪 昇	13 飯島 康弘	14 田崎 清	15 小沼 英明	16 小峰 進
可決	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	



議案ピックアップ

気になる議案をチェック

潮来市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部が改正されたため改正するもの。潮来市が支払う消防団員退職報償金の区分を追加する。令和7年4月より新たに35年以上の区分を追加し、階級ごとに退職報償金を支給する。



令和6年度潮来市一般会計補正予算（第9号）

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3億4,316万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ147億8,217万7千円とする。

令和6年9月の決算特別委員会にて、各議員から不用額の指摘があり、減額補正を行った。



潮来市国民健康保険税条例の一部改正について

国民健康保険の安定的な財政運営及び効率的な事業運営を行うことを目的とし、潮来市国民健康保険税の税率改正を行うもの。

区分	医療分		後期分		介護分		合 計		現行税率 との比較
	被保険者		被保険者		40歳以上65歳未満の 被保険者				
比較	現行	改正後	現行	改正後	現行	改正後	現行	改正後	
所得割	5.7%	➡ 6.3%	2.8%	➡ 3.0%	2.0%	➡ 2.1%	10.5%	➡ 11.4%	+0.9%
均等割	32,000円	➡ 35,000円	16,000円	➡ 17,000円	15,000円	➡ 16,000円	63,000円	➡ 68,000円	+5,000円

潮来市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例及び潮来市地域包括支援センターの職員等に係る基準を定める条例の一部改正について

介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の施行のため改正するもの。地域包括支援センターの職員確保のため、職員配置について柔軟な職員配置を可能にする。常勤換算方式を導入することで必要な員数を確保できる。





一般通告質問

一般通告質問とは、議員が市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針などに質問をしたり、報告や説明を求めることです。

飯島 康弘 議員 P.5

- 1 潮来市の防犯対策について
- 2 『自治体DXの推進』について

吉川 利一 議員 P.6

- 1 過疎対策について
- 2 潮来市の観光について

黒須 俊行 議員 P.7

- 1 潮来市老人デイサービスセンター「白鳥」について
- 2 通学路における安全対策について
- 3 延方駅周辺の環境整備について
- 4 火災時における対応について

石田 裕二 議員 P.8

- 1 給食センターの改築について
- 2 道の駅いたこの直販委員会の解散について
- 3 潮来市都市計画マスタープランの主要市道について
- 4 民間福祉施設等の経済支援について

小沼 英明 議員 P.9

- 1 潮来市内6丁目前川沿いの井戸涸れについて
- 2 市内の道路の危険箇所について伺う
- 3 交通弱者に対する今後の手段は？
- 4 令和7年2月4日の潮来クリーンセンターの火災について伺う

和田 直子 議員 P.10

- 1 潮来市の人口流出の現状と課題について
- 2 子育て支援充実とジェンダーギャップ解消にむけて
- 3 雇用創出と新しい働き方を支援する取り組みについて

阿部 慶介 議員 P.11

- 1 近隣市で有機フッ素化合物（PFAS）検出！潮来市は？
- 2 子ども達が全員英語が話せるまちづくり！
- 3 带状疱疹ワクチンの助成対象の20歳まで拡大について

佐々木 徹 議員 P.12

- 1 統合による子ども達の教育環境は大丈夫か？
- 2 また起きてしまったクリーンセンターの火災今後のゴミ処理施設の課題について
- 3 観光農園構想が残したもの（構想から約40年経過した現在地）

平田 健三 議員 P.13

- 1 带状疱疹ワクチンの助成拡大を！
- 2 自治会「回覧板」のデジタル化導入を！
- 3 インバウンド（訪日客）の取り組み強化を！
- 4 補聴器の購入の助成について

志村 一 議員 P.14

- 1 公共交通空白地域を回るコミュニティバスの本格的な運行について
- 2 潮来市立図書館の旧牛堀一小正門からの車両進入について
- 3 一年後に迫った潮来一中・牛堀中の統合における通学路の安全確保と通学手段について

鴫田 正信 議員 P.15

- 1 潮来市の道路舗装工事と生活道路について
- 2 潮来市の建設業者の経営審査とランク付けと入札について
- 3 工事受注者について

兼平 直紀 議員 P.16

- 1 前川沿岸における浸水被害防止策等、川幅拡張工事、橋梁の架け替え工事について
- 2 潮来市の防犯対策について

田崎 清 議員 P.17

- 1 米作りと生産調整について
- 2 市道(牛)1級4号線(台上戸～古宿線)について
- 3 シルバー人材センターについて
- 4 川尾農村公園について

数字の横に「➤」が付いていないものは、紙面の都合上掲載できませんでした。5ページから17ページにありますQRコード（議員氏名隣）を読み取ると、映像で視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

一般通告質問 気になるQ&A

潮来市の防犯対策について

問 防犯カメラの設置状況は？

答 榊原総務部長

市庁舎6台、福祉事務所2台、他公共施設35台である。

答 吉川学校教育課長

小中学校においては計33台が稼働中である。

問 個人や事業所に向けた防犯

カメラの設置補助事業等の考えはあるか。

答 榊原総務部長

市としては設置場所やプライバシーへの配慮なども踏まえ、対象者を各自治区とした防犯カメラ設置事業の準備を進めている。

問 特殊犯罪が増える中、行政

と市民が一体となって防犯意識を高めていくことが大切。「潮来市は市全体でまち全体で防

犯対策を行っている！」という意識づけを市内外に行っていただきたいが市の見解を伺う。

答 榊原総務部長

犯罪等の未然防止、地域住民の安全安心感の向上に繋がるものと捉えている。さらには地域全体の防犯意識の向上へと繋げて参りたい。

『自治体DXの推進』について

問 目的は市民サービスの向上

と業務の効率化であるが、今後の取組と課題を伺う。

答 榊原総務部長

あやめ園内でのAR(拡張現実)活用、24時間AI電話自動応答システム、行政手続きにおいては49手続きでオンライン申請が可能。課題としてはデジタルと紙申請の併用により二通りの業務フローになっている。経過期間の一時的なものと見込む。

問 24時間対応AI電話とあるが、市民が電話番号を知らないと使えない。番号、周知はなされていくのか。

答 箕輪DX戦略室長

AI電話番号0299-9412705

周知についてはSNSや市の広報にて速やかに行っていく。

問 地方公務員専用AI「マサルくん」を自治体パートナーとして導入する考えはあるか伺う。

答 榊原総務部長

導入にあたってはDX戦略室においてセキュリティ面、費用対効果等の検証を行い、市独自のガイドラインの作成も含め調査研究を行っていく。

家庭ごみの分別（品目別の捨て方）の問い合わせをAI（人工知能）が24時間対応する。

詳しくはこちらから →



質問者 いいじま 飯島 やすひろ 康弘



一般通告質問 気になるQ&A

過疎対策について

問 牛堀地区を対象にした潮来市過疎地域持続的発展計画、今期計画の進捗と次期計画の方針について伺う。

答 榊原総務部長
ソフト、ハードともに事業を進めている。

再問 令和6年9月、牛堀土地改良、かすみ認定こども園、福祉施設えんむすびの3者が、道路改良に対して協力金を拠出する旨の同意書を添えて、旧牛堀町民プール前の道路改良を求めるための要望書を市に提出した。予算を見ると、令和7年の工事費が九千万円と、前年の半分になっている。工事は実施できるのか。

答 榊原総務部長
計画に基づき事業を進める。

問 清水地区開発について調査検討作業の進捗を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長
(仮称) 麻生インターチェンジ周辺地区における産業用地の創出を目的に、今年度は潮来市産業用地開発実現化調査に取り

組んでいる。主な内容として、①地権者アンケート調査、②開発手法及び各種課題の検討に係る関係機関との協議、③産業用地に関する需要調査を実施している。3月21日開催の庁内委員会で報告する予定。

再問 どれだけの規模のものがいつ出来るのか。

答 酒井企業立地戦略室長
農地の取り扱いや企業需要の課題がある。立地企業など実現性の担保が取れない限り事業化はできない。これらの課題をクリアしたうえで事業化の判断をおこない、事業スケジュールを示していきたい。

問 市ではコミュニティバスの実証実験が行われたが、その成果について伺う。

答 榊原総務部長
57日間で1日3便を運行、595人の利用があった。アンケートには112件の回答を得た。

分析データを元に地域公共交通活性化協議会で議論していきたい。

再問 広域路線バス事業は実施

から9年たつが北浦ラインは一便あたり利用者は2.6人。当初は国・県・市の予算で実施されていた。今は国の交付税80%、市が20%の負担をしている。一方で大洗町のタクシー券が好評である。周辺市町村を参考に潮来市に最適な交通施策を求める。

答 榊原総務部長
協議会では年末には新たなコミュニティバス実証実験を行った。

また、大洗町など他市町村の事例も参考に、最善を模索していきたい。

潮来市の観光について

市では日本一の水路として、前川の整備を進めてきたが、完成予定年、予算総額と見込んでいる観光への経済効果の規模を伺う。

答 榊原総務部長
概ね短期3年、中期5年、長期10年を想定し、事業スケジュールを策定している。予算総額や完成予定年、観光への経済効果規模については、計画に記載はない。

再問 コンサル会社に1,08



「水郷潮来あやめ園」

9万円を支払っている。無駄にしない事が重要で、国内の観光地と競り合う、外国人にも来てもらえる風景の再現を願う。

答 榊原総務部長
代替性のない観光資源を持っていると認識している。各部署等と連携をとり日本一を誇っていききたい。



よしかわ り い ち
吉川 利一

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

潮来市老人デイサービスセンター白鳥について

問 指定管理者の再公募の結果について伺う。

答 実川市民福祉部長
再公募を実施したが指定管理者の再公募の応募はなかった。

問 利用者の他施設への移行状況について伺う。

答 実川市民福祉部長
利用登録者56名中、入院の方1名を除きデイサービスセンター、または施設入所へ移行が済んでいる。

問 今後のデイサービスに関する短期的及び具体的な取組方針について伺う。

答 実川市民福祉部長
令和7年4月1日からは、休止の予定である。今後は再度、指定管理に関し調査、研究を行い、事業再開に向け対応を図って参る。

通学路における安全対策について

問 横断歩道上における道路照明灯の設置基準について伺う。

答 小沼建設部長

交通事故防止を図るため、必要がある場合は国土交通省で定めるものを設けるものとされている。道路照明においては、主として夜間における交通安全性と円滑化を図るため、必要がある場合に照明施設を設けるものとされている。

再問 日没の早い時期などにおいて横断する子供たちの早期視認が遅れたり巻き込み事故が起きる前に対策を講じておく必要があり、潮来二中やその他の箇所でも照明が不十分な所があるが、どのように対策をしていただけののか伺う。

答 小沼建設部長
潮来二中前の通りのことかと思われるが、こちらは県道になるので所管の潮来土木事務所に確認をしていただき対応をお願いしたい。

問 通学路における防犯対策について伺う。

答 榊原総務部長
子どもの被害は、登下校時、特に下校時の午後3時から午後6時に集中しており、地域における連携強化があげられ、警察、学校、市で不審者情報の共

有や迅速な対応を行い、また、通学路の合同点検を実施し、危険箇所に関する情報を共有するとともに、危険箇所の重点的な警戒、見守りを進めて参る。

再問 防犯灯に関して、近年、新世帯が増加している古高地地区であるが、延方小学校と潮来第二中学校からつながるルートは非常に暗く、自転車通学の子どもの安全と犯罪抑止のため防犯灯の増設についてはどうか。

答 濱野総務課長
防犯灯に関しては、防犯灯の設置要綱と併せ、現地を見ながら進めていく。

延方駅周辺環境整備について

問 市民の安心、安全をサポートする上で防犯の観点から道路照明灯と防犯灯の増設が必要と考える。

答 延方駅周辺では、循環バスや学生の送迎バス、JRを利用する通学生が多く、今後、調査の上、増やす考えがあるか伺う。

答 小沼建設部長
道路照明灯については、必要がある場合において照明施設を

設け、防犯の観点として設置する場合には、関係部署と協議をして参りたい。

答 榊原総務部長
防犯灯の観点から防犯灯の増設は各地区の区長さんからの申請書を受けて現地調査を実施し、防犯灯設置及び維持管理要綱に基づき進めている。

火災時における対応について

問 被災者へのケアについてどのように対応されているか伺う。

答 実川市民福祉部長
被災者の支援や情報収集に努め、救援物資である布団や歯ブラシ・タオル等の緊急セットの手配及び今後の生活の場、市営住宅等を優先した相談を行っている。



質問者 黒須 俊行



一般通告質問 気になるQ&A

給食センターの改築について

問 建設から44年経過した当市給食センター。衛生管理対策や調理器具の最新化は！令和3年にも質問したが学校の統合・適正化とともに建設計画の策定は！その後の状況を伺う。

答 吉川学校教育課長

令和3年の質問を受けて、第6次産業加工場を併設の稼働率の高い施設の検討、国の交付金の確認、先進地の研修などを実施して来た。公共施設の長寿命化は40年を目途にしている。それらからも「安全で美味しい給食」を目指して計画を進めていく段階と認識している。

道の駅いたこの直販委員会の解散について

問 2002年ワールドカップ開催時にオープンした道の駅。しかし地元の出店や新鮮市場伊太郎を支える生産者の会員数が減っている。オープンからの状況の変動と今後の対策を伺う。

答 沼田環境経済部長

まず、地元の農産物等の出荷生産者数は減少している。要因は生産者の高齢化、担い手不

足。対策として農業者への有益な情報提供や新規就農者の販路拡大に努めていく。

再問 これまで地元の「かあちゃん手むすび」の皆さん、直販委員会も減少、また地元名物の佃煮屋さんも辞めるという。道の駅は市が税金を投入した施設。それが単なるドライブインでは、地元産業との競合施設になってしまふ。茨城県の玄関口としての役割と地元産業の育成と支援は！行政として考え方を問う！

答 原市長

現実的には、もう行方市や銚田市の農家の品数、品質も含めて量的供給で成り立っている。鹿行地域全体の商品、情報発信基地という考え方の下で存続していく事に切り替えて経営していく。これが現実である。その上で地元を大事にしていく。

潮来市都市計画マスタープランの主要市道について

問 潮来市都市計画マスタープランの道路ネットワークは点在する拠点を結び、周辺都市との連携を図る重要な計画。現在、

未完成の市道（潮）1級10号線の整備費用を伺う。

答 小沼建設部長

51号潮来駅入口交差点から立金まで建設費用は約5億円である。

再問 道路は、多くの皆さんに使ってもらって活きる。現在の使用状況は限られた市民である。この投資した道路を活かすための提案がある。以前に川尾団地入口から潮来駅までの予定路線があった。51号の渋滞緩和、潮来の道路ネットワークの有効な道路になる。先行投資をして将来の51号バイパスとして国に売却する。このような道路への先行投資は可能かどうか検討の提案をする。

答 小沼建設部長

仮定の質問のため、答弁は控えさせていただきます。

民間福祉施設等の経済支援について

問 令和6年度物価高騰対応交付金を公立認定こども園、公立学校、各公民館、タクシー助成金など公費負担分を賄うための費用に充てたが、民間認定こども園、高齢者の介護施設等の事

業者は光熱費等の物価高騰によって運営が厳しい状況にある。民間への支援を問う。

答 榊原総務部長

市財政状況から財政健全化を目的に、公立、公共施設電気代高騰分等に充てた。

再問 鹿行4市の状況を確認したところ、民間福祉施設に当該交付金を活用して経済的支援をしている。銚田市では中小企業支援も行っている。このような他市の交付金活用状況から市の対応を問う。

答 榊原総務部長

十分に近隣自治体の動向を踏まえると共に、国や県等の制度活用を総合的に判断する。



いした ゆうじ
石田 裕二

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

潮来市内6丁目前川沿いの井戸涸れについて

問 前川沿いの拡幅工事において近辺の井戸涸れがあったと聞く。市役所の把握している件数とこの件に対する対応について伺う。

答 小沼建設部長

市は把握しておらず、潮来土木事務所に確認すると7軒の井戸が涸れた。令和6年11月に地下水を低下させるディープウェル工法を施工したところ、12月下旬より令和7年2月上旬にかけて出島橋から真菰橋の間の民家で井戸涸れが発生した。井戸水のみ使用している家には水道を暫定的に給水、料金を潮来土木事務所が補償、水道と井戸水を併用している方については、過去の水道料金を超えた分を潮来土木事務所で補償している。今後の工事については、井戸が涸れる可能性もあると事前に話すよう潮来土木事務所にも伝える。

市内の道路の危険箇所について伺う

問 潮来大橋のたもとから郵便局裏、水門、十番、日の出堤防と常陸利根川沿いの川岸の道路、速度制限は何キロ？スピードを出す車も多く何か制限はできぬか？

答 榊原総務部長

速度表示がないので60km/h、交通事故も複数発生しており行方警察署と協議して参る。

答 草野都市建設課長

反射で段差に見えるようなものを道路標示にするなど考えていきたい。

問 神栖方面から51号へ向かうしまむら・ウエルシアの信号の右折は危険、右折信号を付ける事はできないのか？

答 小沼建設部長

信号設置後、7年余り経過し大型スーパーやドラッグストアも開店。交差点内に右折車線がすでにある事から茨城県警や土木事務所に設置要望を出している。

交通弱者に対する今後の手段は？

問 コミュニティバスの実証実験の分析においてそれなりに成果があった。公共交通のバスより乗車率が良いのでは？

答 榊原総務部長

1便当たり3、48人で神宮あやめ白帆ライン（6、29人）には及ばないものの鹿行北浦ライン（2、63人）を上回る利用状況となった。

問 バス停まで行くのが大変という声を聴く。大洗のように500円タクシーのような実証実験をやったかどうか。

答 実川市民福祉部長

実証実験中の検証結果の他、他市の事例等も含め効果検証を踏まえ今後の潮来市地域公共交通活性化協議会で協議事項とされると考えている。

令和7年2月4日の潮来クリーンセンターの火災について伺う

問 火災はリチウム電池が原因と聞いている。また、他の施設で処理するようだがどこで処理され、いくら掛かるのか伺う。

答 沼田環境経済部長

ひたちなか市の勝田環境株式会社。2/13、28までで10トンテナで3台17、05t、金

額は141万7,075円。

再問 以前にもリチウム電池が原因で火災が起こっている。鹿嶋・神栖より回収方法も少なくHPも小型家電回収ボックスのページが開かない。

答 原市長

周知が徹底されていないという事で今回の火災も発生した。ホームページのリンク先についても、回収の仕方も踏まえ早急に変えて参りたい。

問 今回の火災の被害は保険で賄えるのか？

答 安藤環境課長

建物・設備とも保険加入している。古いので若干保険金は下がる。



質問者 おぬま 小沼 ひであき 英明



一般通告質問 気になるQ&A

潮来市の人口流出の現状と課題について

問 潮来市では、鹿嶋市・神栖市への転出超過が続いている。特に20～30代女性の流出が顕著だが、その要因について市の見解を問う。

答 神原総務部長

鹿嶋・神栖市への流出は、医療機関の不足、商業施設の少なさ、雇用機会の不足が一因と考えている。若年女性の転出には、就職や結婚など人生の節目における生活拠点の選択肢の少なさが影響している。

問 転出超過の改善に向けて、近隣市にはない潮来だからこそできる施策が必要では？

答 神原総務部長

潮来ならではの施策の必要性については共感しており、水郷文化など地域資源を生かした取り組みを学習し、具体化していきたい。

子育て支援充実とジェンダーギャップ解消にむけて

問 中学校部活動の送迎支援を

行う考えはあるか。

答 吉川学校教育課長

部活動の移動は現在、自転車・徒歩・保護者の送迎で行われており、今後とも現状のままでお願いしたい。

問 既存のファミリーサポートセンターの対象を中学生まで拡大すれば、新たな制度を作らずに送迎支援が可能になるのではないか。

答 山田子育て支援課長

ファミリーサポートセンターでは、小学生以下の児童を対象に預かりや送迎をしている。協力会員さんの増員もなかなか難しく、現状、何とか対応をしており、中学生までの拡大は難しい状況である。

問 プレイパーク設置、中高生の居場所づくりの考えはあるか。

答 大崎生涯学習課長

プレイパークは、子どもが自分の責任で自由に遊ぶ冒險的な遊び場であり、創造力を育む施設として注目されている。潮来市での設置は今後の研究課題である。また、中高生の居場所づくりとしては、図書館や公民

館をサードプレイスとして活用し、学習や交流、リフレッシュの場とすることを想定している。

再問 現在、市民が自発的に行っている子ども食堂やプレイパークの活動を行政が支援し、協働して遊び場や居場所づくりを進めてはどうか？

答 大崎生涯学習課長

プレイパークの設置には地域や大人の協力が不可欠であり、子ども食堂などの活動団体との連携も必要と考えているが、現時点では設置に向け研究していきたい。

中高生の居場所づくりについても活動団体との連携は、今後の課題とし、現状では図書館や公民館など既存の施設を活用していただきたい。

問 ジェンダー平等の視点を市の公的支援に反映させるため、ランドセルの色分けの見直しや、制服・校則に関する多様性の尊重などに、どのような方針を持っているか。

答 実川市民福祉部長

今後のランドセルの色について、令和7年7月末頃に仕様を

決定する予定。子ども子育て会議の意見やアンケート結果を踏まえ、より平等な形にする方針で進めていく。

答 吉川学校教育課長

ジェンダー平等への対応については、校長会からの意見や第2期学校適正化計画に基づき推進していくべきと考えている。令和7年1月30日には、市内4中学校の生徒会と教育委員会がオンラインによる意見交換会を実施し、各校生徒会の役員の皆さんと教育委員会が多岐にわたる意見交換を行った。教育委員会としては、生徒たちの意見を尊重しながら、改善に向けて取り組んで参りたい。



わだ なおこ
和田 直子

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

近隣市で有機フッ素化合物（PFAS）検出！潮来市は？

問 PFASの検査は県で毎月行っている。ただし、市の井戸水等の検査は行っていない。PFASの今後の検査予定は？

答 小沼建設部長

市の水道水は、全量を茨城県企業局の水を受水している。PFASの水質検査は茨城県企業局で毎月実施している。

答 沼田環境経済部長

近隣他市では、1市のみPFASの検査を7年度の予算に計上している。この状況を踏まえ、潮来市は周辺自治体の動向を注視して参りたい。

問 地域の飲料水の安全の確保は市にとって非常に重要で、大きな課題。近隣の動向を見ながらというよりすぐにやるべきだと思いませんか？

答 安藤環境課長

確かに生活直結の井戸水である。現在のところ市の河川によるPFASの検出はされていないが、今後発生するかわからないため、周辺の自治体の動向を注視していきたい。

子ども達が全員英語が話せるまちづくり！

問 現在の潮来市のALTに係る年間の経費は？

※ALT：外国語指導助手

答 吉川学校教育課長

潮来市の年間のALTに係る経費は3,234万円、7人のALTがいるため、1人当たり直しますと462万円である。

問 ALTにより実践的な英語を学ぶ機会が増え、生徒たちのコミュニケーション能力や国際感覚が育まれ、将来的にはグローバルな社会で活躍できる人材になる。経費を安いところに変更して人数と授業時間を増やしては？

答 吉川学校教育課長

授業時間は文部科学省の学習指導要領で決まっている。現状より安価な委託業者に変更が可能かどうか調査、研究をさせていただきます。

問 先日、自分と議員有志で港区の区立幼稚園に研修に行った。そこで子供たちの年齢が一番低いクラスが素直に英語に親しんでいた。先ほどの答弁でA

LT1人約460万円で7人を3年、計算すると約9,660万円。その前は4人で3年で5,520万円。足すと1億5,180万円。この6年間で1億5,180万円を使って、英語が話せる子どもたちは何人育ったのか？頂いた税金を使って教育するならば、話せる教育にお金を使うべきでは？

答 塙教育長

ALTの有効活用を校長会にお願いしている。その中で学校の授業だけではなく、様々な時間でALTと関わる時間を増すなどR7年度に向け、効果的な英語教育ができるよう取り組んでいく。先ほどのALTの経費も含めて研究していく。

問 ALTと保育教諭との打合わせの時間や、コミュニケーションが難しいということだが、それならば日本語を話せるALTを派遣してもらえばよいのでは？

答 山田子育て支援課長

あやめこども園では、幼保連携型認定こども園の教育保育要領に定められた内容で教育・保育を行っている。日本語の基礎の育成を目指しながら遊びの中で英語に触れ、異なる言語や

異文化に触れる機会を作ることが目的。ALTによる英語教育は、現場の先生の意見を聞きながら幼児期に英語教育を始めている自治体等の状況も注視しながら研究する。

問 英語教育が必要だということとは誰もが分かっている。早くそのことに気がついた市はもう動き出している。すぐにでも幼児期からの英語教育に力を注ぐべきだと思いがいかがか？

答 原市長

早めにアンテナを高くし、先進事例を導入していればよかったが、なかなかそうもいかなかった。今後は契約が切れた時点で、完全に移行できるような形で多くのALTを抱えて、幼児教育までしっかりとできるように進めていきたい。



質問者 あべ けいすけ
阿部 慶介



一般通告質問 気になるQ&A

統合による子ども達の教育環境は大丈夫か？

問 潮来小の体育館が新築ではなく改修になった理由は？

答 吉川学校教育課長
財政的に改修の方が有利であり、既存体育館は耐震改修済みの為、十分利活用が可能であることから改修という選択に至った。

再問 既存体育館は築47年で2億円かけて改修工事を行う予定。子ども達には古いものを直して使ってもらおう。対外的に利用目的がある前川運動公園の2面目の人工芝サッカー場を5億円かけて新設中であるが、子ども達の教育環境がないがしろにされてはいないか？

答 吉川学校教育課長
個別施設計画の中で築40年を迎えた建物から改修の検討をする事になっている。7年超過しているが今回が改修のよい機会だと捉えている。

答 埴教育長

前川運動公園の人工芝サッカー場増設については生涯学習課ではスポーツツーリズムを推進しているところである。

問 スクールバス代1,000円について、統合して保護者の負担が増えるのはおかしいと思うが如何か。

答 吉川学校教育課長
説明会やアンケートで様々な意見をいただいているところである。今後もし引き続き丁寧の説明をしていければと思っている。

問 最終の中学校統合一校化の校地は、牛堀中と潮来一中の統合前に決めておくべきだが、潮来一中、潮来二中、日の出中のいずれかが候補地として上がっているが未決である。一校化の校地が潮来一中以外の潮来二中、日の出中になる可能性があることを牛堀中学区の皆様へ説明したか伺う。

答 吉川学校教育課長
各地区の説明会で令和8年4

月の統合、令和11年の中学校一校化の統合については丁寧に説明をしている。

問 現行計画での中学校一校化は難しいのではないかと？

答 吉川学校教育課長
第2期潮来市学校適正化計画は令和15年までの人口推計値を基に、児童数、生徒数を算定している。また、既存中学校の施設や設備についても、学校基本調査等で建築年次を把握し、維持管理に努めている。一定の改修等は必要になると思うが、一校化は十分に可能であると考えている。

再問 既存3校が候補地として上がっているが、例えば潮来一中学区の方が潮来二中に行くとなった場合、どうか？地域間の取り合いになることが懸念される。それは別学区に行く側はバス代負担の件もしく、デメリットが大きいのではないかと？

答 埴教育長
一校化がもたらす学校規模の適正化によってのメリットも説

明しているところである。一つ一つ、大事に、丁寧に説明をしながら、子ども達のためにどのような学校づくりがいいのか、ご意見をいただきながら取り組んで参りたい。

再々問 このように様々な問題を解決するのは、潮来市の中心である津知小学校跡地に統合中学校を新設することだと思いが如何か？

答 埴教育長
第2期学校適正化計画では既存校舎の活用が前提にある。津知小学校跡地については、跡地利用で進めて参りたいと考えている。



質問者 佐々木 徹

一般通告質問 気になるQ&A

带状疱疹ワクチン！ の助成拡大を！

問 定期接種化での本市の助成について伺う。

答 実川市民福祉部長

対象者は、潮来市に住所登録があり、主に年度内に65、70歳というように5歳ごとの対象者となり、95歳と、100歳以上の方で過去に一度も带状疱疹予防接種を受けたことがない方が対象となる。

助成額は1回4,000円で、不活化ワクチンは2回接種となるので、1回当たり4,000円、2回接種で助成額は8,000円となる。

拡充については、今後の国の動向なども注視していきたい。

自治会「回覧板」の デジタル化導入を！

問 「電子回覧板」を導入してはどうか。

答 榊原総務部長

県内自治体における電子回覧板の取組状況は、15自治体において、紙媒体の回覧物配付を行った上で、ホームページで回覧物の内容が確認できる状態となっている。

また、県内の事例では、笠間市において、令和6年2月から3月にかけて、一部の地域で紙媒体の回覧物の配付を行わずに、電子回覧板のみを配信する実証実験を行った。その後も、希望する地域があれば実証実験を実施しており、現在も1つの地域において実験継続中であると同っている。本市としても、自治会の回覧板のデジタル化を検討することは非常に意義深いテーマであるので、先行自治体

を参考に検討を進めて参る。配付物に関しては、今年度、区長会役員会の議論を基に、自治会役員の皆様の負担軽減を図ることを目的として区長回覧物の見直しを行い、なるべく全戸配布から回覧での周知に移行できるように、市役所内において見直しに取り組んでいる。

インバウンド（訪日客）の取り組み強化を！

問 今後の取り組み・対応について伺う。

答 沼田環境経済部長

茨城県では、外国人誘客促進の重点指標としている台湾と韓国を中心に、国や地域のニーズを踏まえた戦略的な誘客プロモーションを展開するとともに、ゴルフ場数全国5位を誇るゴルフ誘客など、県の強みを生かした誘客促進に取り組んでいる。2024年の本市への外国

人延べ宿泊数も1万2,904人と著しい伸びとなっている。今年度、茨城県の補助事業を活用し、観光拠点でもある水郷潮来あやめ園に英語併記の案内看板を作成し、国外からのお客様の受入れ環境の強化をして参る。また、株式会社いたこにおいても、嫁入り舟を活用したツアー造成事業を導入し、令和7年度、インバウンド誘客に向けたツアー販売等を開始する予定である。



質問者 ひら た けんぞう
平田 健三



一般通告質問 気になるQ&A

**公共交通空白地域を
回るコミュニティバスの
本格的な運行について**
「本格的な潮来市コミュニティバス
の運行につなげていくために」

問 実証運行を終え、どのような課題が見えてきたのか？

答 神原総務部長

潮来市コミュニティバス実証運行は合計57日間、171便の運行で、合計で595人のご利用をいただいた。より利便性、持続可能性の高いコミュニティバスの運行を実施していくためには、運行便数や運行時間帯、運行ルートの拡大などが課題である。

問 コミュニティバス運行にあたってそれぞれの委託タクシー会社の抱える課題は？

答 河瀬企画政策課長

それぞれの委託タクシー会社の抱える課題として、車両とドライバーの確保があげられる。

再問 潮来市内の委託タクシー会社の抱える大きな課題であるワゴン車台数不足、ドライバー不足、その中でのスクールバス運行という現状から、9時から14時30分の運行時間は変えられないという現実。この厳しい現実の中、運行コースを増やすという一

つの提案をさせていただく。

1点目に、奇数日、偶数日とコースを分けることで、乗車人数もある程度集中する。このことによってコースが増え、公共交通空白地域を埋めるための範囲も広がってくるのではないかと。2点目に、偶数日に今回の実証運行コース（ベイシア・大山・川尾・ララルー・図書館・保健センター・さくら・市役所方面）はそのまま運行する。

3点目に、奇数日にAコースとしてベイシア⇄福島⇄徳島⇄米島⇄道の駅⇄市役所⇄さくら⇄ベイシア2便運行・Bコースとしてベイシア⇄大塚野⇄台上台⇄島須⇄さくら⇄市役所⇄ベイシア2便運行する。

4点目に、奇数日と偶数日に分けて運行するよさとして、第1月曜日が奇数日の場合、第2月曜日は必ず偶数日になる。利用者にとって曜日の偏りがなくなる。また、新たな運行コースの拡大にもつながる。

答 河瀬企画政策課長

提案いただいた具体的なルートや、奇数日、偶数日に分けての運行の提案についても、今回実施したコミュニティバス実証運行利用の実態を分析しながら、しっかりと協議の場で提案をさせていただく。

コミュニティバス運行一つの提案

委託タクシー会社 <抱える現実> ↓ ・ワゴン車不足 ・ドライバー不足 ・スクールバス運行 ☆9時～2時半の隙間運行	<1点目> ○奇数日コース ○偶数日コース コース増運行	<3点目> ○偶数日 新たな2コースを2便ずつ運行 ☆新たなコース	<Bコース> ベイシア⇄大塚野 台上⇄戸須 さくら⇄市役所 ⇄ベイシア
	<2点目> ○奇数日 試行コース（さくら方面） 2便運行	<Aコース> ベイシア⇄福島⇄徳島の駅⇄米島⇄道の駅⇄市役所⇄さくら⇄ベイシア	<偶数日・奇数日運行の良さ> ①曜日の偏りがなくなる ②新たなコース拡大になる

**潮来市立図書館の旧牛堀一
小正門からの車両進入について**

問 潮来市立図書館の旧牛堀一小正門からの車両の進入を可能にするための進捗状況は？

答 大崎生涯学習課長

行方警察署交通課から、旧牛堀第一小学校正門から県道5号線への車両の出入りについて

は、進入路として使用しても問題はないとの回答をいただいた。今後、市道を管理する都市建設課や関係機関との協議をしていきたい。

一年後に迫った潮来一中・牛堀中の統合における通学路の安全確保と通学手段について

問 通学路が変わる牛堀中学校の生徒の通学手段と通学路は？

答 吉川学校教育課長

通学手段としては、スクールバス、自転車、徒歩、保護者等による送迎を想定している。令和7年4月に牛堀中学校区から通学予定の児童・生徒、保護者よりスクールバスの利用調査及びバス利用バス利用申込みを行う。また、通学路については、自転車通学のための安全確保として、国道51号線や県道5号線・県道50号線の整備要望を進めていく。



はじめ

しむら 志村

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

潮来市の道路舗装工事と生活道路について

問 潮来市の道路計画はどのような計画を立てて進めているのか伺う。

答 小沼建設部長

道路計画については、潮来市国土強靱化地域計画などで市の計画に位置づけられている路線や地域からの要望等がある路線について事業を進めている。

整備については、通学路や避難路などの道路の特性や緊急性、必要性、用地取得の有無、さらには、工事の施工性、事業効果の早期発現などを勘案して、優先順位を決め、実施している。

未舗装路については、4メートル未満の未舗装路を年に2路線から3路線の新設舗装工事を実施している。

令和6年度は、釜谷地区の市道（潮）18号線、潮来5丁目地区の市道（潮）829号線及び850号線、将監地区の市道

（潮）1120号線の合計4路線である。延長にすると、約650メートルの新設舗装工事を実施したところである。

道路拡幅については、用地取得、物件・移転補償などが生じることから、事業による費用対効果などを総合的に判断し、進めている。

問 上戸の信号機から認定ことも園うしほり園へ観音寺へ上戸に抜ける市道（牛）4201号線は道路幅が狭く葬儀へのマイクロボスも危険と感じて途中で降ろされてしまふ。お彼岸、お盆、お墓参り、県内外からもお客様も多い、使用する地元の関係者が困っているため道路計画はあるか伺う。

答 草野都市建設課長

市道（牛）4201号線、うしほり園から観音寺に通ずる道路かと思う。地元から平成11年、平成27年、昨今では令和6年10月に要望書を頂いた。その中で現状を確認している。整備

については、潮来市全体で優先順位を付け、計画に基づいて進めていく。

問 二項道路の救済処置としてセツトバックした土地の移管後の管理について伺う。

答 小沼建設部長

セツトバックした土地の道路用地として移管を受けた箇所については、原則として寄贈者などの要望等により、碎石の敷きならし、草刈りなどを実施している。なお、すれ違いや、退避場等の有効活用が期待される場所においては、アスファルト舗装での対応をしている。

潮来市の建設業者の経営審査とランク付けと入札について

問 潮来市の建設業者の経営審査とランク付けと入札について伺う。

答 榊原総務部長

潮来市の評価は、経営審査の点数は県と同じとなるが、潮来

市のランク付けについては潮来市建設工事等入札参加資格審査要綱第7条の基づき、客観点数として経営事項審査の結果による数値を基礎とし、工事成績及び別に定める主観的事項の数値を加味し、審査、採点している。

答 下河財政課長

入札は金額によって分けている。一般競争入札については2,500万円以上の工事としている。それ以下になると指名競争入札で、この金額についても落札率の関係で過去に変えた経緯がある。



質問者 ときた 正信



一般通告質問 気になるQ&A

前川沿岸における浸水被害 防止策等、川幅拡張工事、橋 梁の架け替え工事について

平成25年10月の台風26号において、前川沿岸地域において50件以上の世帯で床上・床下浸水により、1,640万円の被害が発生した。河川拡幅工事の早期完成に向けた対応について伺う。

問 霞ヶ浦河川事務所へ前川排水施設の柔軟な運用を求める要望書を提出し、柔軟な対応をしているとの答弁、変更や改善された事項は？

答 榊原総務部長

対応内容の改善については変更、改善した事項はない。

問 運用内容についての継承体制は？

答 濱野総務課長

年度当初、霞ヶ浦工事事務所の所長、支所でホットラインの電話確認等、市担当者が異動の際には、霞ヶ浦工事事務所の担当者とは引き継ぎ事項等の打合せをしている。

問 前川排水施設送水要領の改定を実施する予定であったが？

答 榊原総務部長

改定はしていないが、上部機

関と調整しつつ、改定に向けて検討を進めているとの回答であった。

問 前川の水位が上昇した場合の排水溝から逆流防止対策について、改善等について伺う。

答 小沼建設部長

逆流防止対策については一部フラップゲートが設置されている。

ハード対策だけでは被害を完全に防ぐことは困難であることから、人的被害を最小にするため、ソフト対策が重要と考え、内水浸水に関する情報を住民に示していく。

問 河川拡幅工事、橋梁の架け替え工事を進めている。進捗状況は？

答 草野都市建設課長

県から約30%が完成しているという回答であった。

問 拡幅工事も進み、水門の弾力的運用、排水ポンプの稼働によって洪水対策の効果は？

答 草野都市建設課長

県から流下能力を確保している。前川の流域の安全確保が着実に図られているという回答であった。

問 工事の執行者は茨城県。10年かけて30%、まだ進んでな

い。前川沿岸の市民生命や財産を守るため、市としての働きかけは？

答 草野都市建設課長

毎年、茨城県議会土木企業立地推進委員会に対し、整備促進について要望している。

潮来市の防犯対策について

問 潮来市での犯罪の手口が変化、凶悪化犯罪について伺う。

答 榊原総務部長

手口が巧妙かつ凶悪化した侵入犯罪の発生が相次いでおり、市民の安全・安心な生活環境を確保するため警察や地域との連携による犯罪防犯対策をさらに強化していく。

問 被害に遭われた方がいた。潮来市には潮来市犯罪被害者等支援条例があるが、対応について伺う。

答 榊原総務部長

条例に基づき速やかに相談に応じ、支援をさせていただいた。

問 来年度予算計上されている防犯カメラ等設置事業としての補助金制度について伺う。

答 榊原総務部長

各地区において防犯カメラを設置する経費の一部に対して補



かねひら 直紀
き 兼平

質問者



問 区が防犯カメラを設置する際、プライバシー問題等の課題について支援・相談体制は？

答 榊原総務部長

警察署はじめ関係団体及び先自治体の事例、併せて法的な部分に関しては市の顧問弁護士等にも相談をしながら支援していく。

問 家庭用防犯カメラ設置、市の財産、文化財があるような施設・諸団体への助成は？

答 榊原総務部長

現時点では、考えていない。今後の動向を踏まえながら、調査研究を進めたい。

一般通告質問 気になるQ&A

米作りと生産調整について

問 令和7年度の実産目標の配分をどのような理由で行うのか伺う。

答 沼田環境経済部長

国の政策として人口減少や米の消費量が減ったため、需要と供給のバランスを図り減反政策が実施されている。政府は、令和6年産米は十分に足りているとの見解である。米の価格や流通については、今後も注視して参りたい。

問 令和7年度は、生産調整を行う農家はかなり少なくなるものと予想されるが、市や農家への影響について伺う。

答 沼田環境経済部長

生産数量目標は茨城県農業再生協議会より市へ示されている。農林関係の補助事業については、生産調整達成が条件となっているものがある。

市道(牛)1級4号線(台上戸く古宿線)について

問 木の伐採やのり面工事(追加工事)の概要と工事額について伺う。

答 小沼建設部長

樹木の伐採は4本、伐根は2本で、工事額は126万5千円である。

のり面工事は120平方メートル、植生シートの設置は129万8千円である。

問 地元住民より落砂があり、大雨のときののり面崩壊が心配との声があるが、対策は充分なものか伺う。

答 小沼建設部長

植生が根付けば十分であり、それまでに多少の落砂は生じる。また安全確認のため道路パトロールにて確認している。

再問 植生シートからの芝の根付きまでの間に大雨より崩壊するのではと心配であり、崩壊した時の復旧責任について伺う。

答 原市長

2日に1回現場を見ており、しっかりと工事を進めていく。道路側に崩れた場合の処理は、市の責任にて処理する。そうい

うことが無いよう、工事を進めていく。

シルバー人材センターについて

問 構成メンバー、人員、年齢別の現状について伺う。

答 実川市民福祉部長

区分	年齢	性別		年齢構成率
		男性	女性	
第1	60～64歳	4人	0人	1.7%
第2	65～69歳	15人	11人	11.5%
第3	70歳以上	142人	55人	86.8%

問 コロナ後の主な受注先、職量、受注額について伺う。

答 実川市民福祉部長

年度	受注件数	就業延人数	年間契約額
R4	1,138件	2万2,051人	1億2,464万6,817円
R5	1,109件	2万1,527人	1億2,835万5,829円
R6	8,479件	1万6,002人	1億13万5,607円

※R6は4月～12月までの積算

職種別 (単位: 万円)				
年度	施設草刈り等	マコモあやめ笠	一般家庭の剪定他	公民館管理
R4	4,266	192	2,598	5,409
R5	4,098	235	2,848	5,655
R6	3,374	243	2,211	4,185

※R6は4月～12月までの積算

問 会員数の推移について伺う。

答 大川高齢福祉課長

年度	会員数
R2	235人
R3	226人
R4	222人
R5	222人
R6	227人

問 会員となるための条件と86.8%が70歳以上の要因について伺う。

答 大川高齢福祉課長

市内在住でおおね60歳以上の健康で意欲のある方。高齢者の就労延長等が必要とシルバー人材センターから伺っている。



質問者 高崎 清



令和7年度予算案

当初予算一般会計129億1,800万円

▼用語の解説（一部）

■市税

市民税・固定資産税・軽自動車税など

■地方交付税

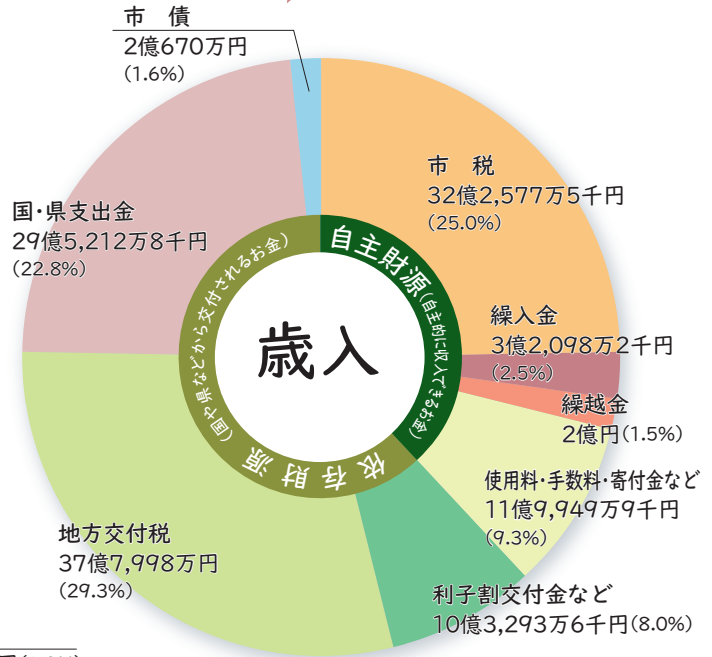
市の財政力に応じて、国からもらえる自由に使えるお金

■市債

国や銀行等から借りるお金

■国・県支出金

国や県からもらえるお金



▼用語の解説（一部）

■民生費

保育や児童・高齢福祉など

■総務費

企画委託・広報・選挙・システム維持など

■土木費

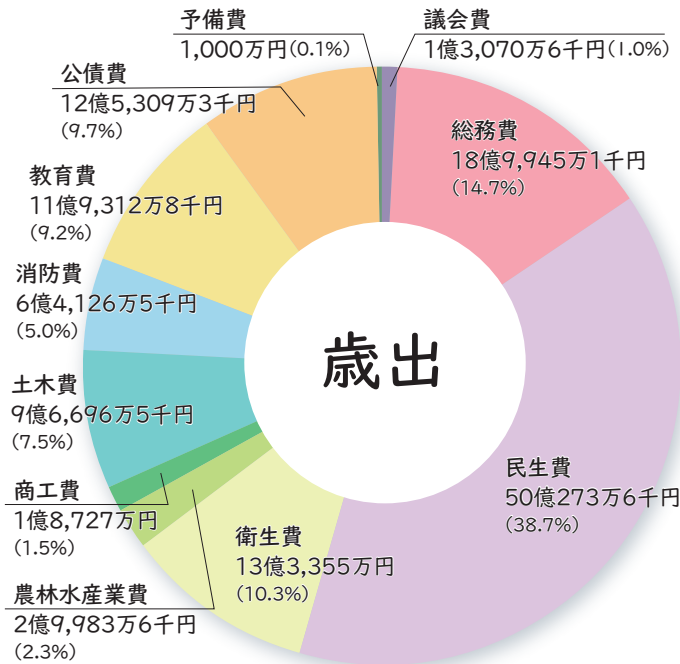
道路や河川の維持管理など

■衛生費

保健・ゴミなどの公衆衛生

■教育費

学校・文化施設の維持管理・給食など



令和7年度潮来市当初予算

（単位：千円）

会計名		R7当初予算額	R6当初予算額	比較増減額
一般会計		12,918,000	13,906,000	△988,000
特別会計	国民健康保険特別会計	3,122,800	3,053,100	69,700
	介護保険特別会計	2,542,500	2,359,800	182,700
	後期高齢者医療特別会計	464,470	451,540	12,930
企業会計	水道事業会計	1,254,906	1,510,549	△255,643
	工業用水道事業会計	17,558	17,553	5
	下水道事業会計	2,368,877	2,524,621	△155,744



POINT
予算が減額となった主な理由としては、前川運動公園設備工事や、特定医療機関誘致致成事業などの事業が終了したこと、当初予算から不用額が出ないよう厳しく積算・計上した結果である。また、事業の適性化と財政の健全化により、各事業が精査された。令和7年度予算の詳細については、広報いたこ4月発行号をご覧ください →



令和7年度予算 主な使い道 Pickup

審議議案と議決結果／
議案ピックアップ



予防接種事業 6,418万8千円

带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、65歳以上の5歳刻みの年齢の方に対し、1回につき4,000円の助成を行います。これまで実施していた任意接種の助成については、対象を50歳以上65歳未満として継続し、定期接種同様に4,000円の助成を行います。



ふるさとづくり寄附金制度推進事業 1億6,906万円

生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる「ふるさと納税」制度を積極的に活用し、寄附の獲得及び財源の確保を目指すため、新規出品事業者や新規返礼品の開拓等を強化します。



部活動地域移行実証事業 89万円

令和8年4月からの中学校の休日部活動の地域移行に向け、持続可能な部活動環境の構築と中学校における働き方改革の実現を図り、学校部活動の地域移行を推進するため、運動部活動の地域移行に向けた実証事業を行います。



地域公共交通網形成事業 4,930万9千円

「潮来市地域公共交通計画」に基づき、利便性、持続可能性の高い公共交通体系を構築し、地域公共交通の維持・確保を図るため、近隣市と連携した広域路線バスの利便性向上を図るとともに、新たな公共交通の導入による地域公共交通網再編に向けた検討を進めます。



地域連携拠点整備事業 1,502万7千円

「潮来市地域連携拠点整備基本構想」における都市公園整備の具体化に向けて、事業スキームや整備・運営計画等の検討を行い、都市公園整備基本計画を策定します。

一般質問

令和7年度の予算案を可決／
予算の主な使い道

予算特別委員会報告

委員会審査

研修報告・議会日誌

委員会審査 予算特別委員会

3月17日・18日の2日間で予算特別委員会が開催されました。本委員会に付託された議案7件を部門ごとに予算内容を審査しました。

R6年度予算と比較して大きく増減のある予算や廃止となった事業に関して、積算内訳や要因について質疑がありました。特に、委託費や工事請負費は、詳細な事業内容、積算内訳、今後の見通し、事業効果などについて、また、各項目に計上された報酬、報償費、需用費、補助金、扶助費等は、内容及び増減理由について、財源や国・県等の補助金の割合などを問う質疑があり、執行部より説明がありました。

討論では、一般会計予算に対し、更なる縮減や予算の組み換え等、予算の修正が必要ではないかとの反対討論が行われ、起立採決により、賛成8名、反対6名で原案のとおり可決しました。

多方面にわたる質疑の一部を紹介します。

市長公室・総務部・会計課・議会事務局

■地域協力活動費 991万6千円

問 R6年度と比較して大幅に予算を増額している。この内容を伺う。

答 地域おこし協力隊の予算である。R6年度は1名で計上していた。R7年度は3名を予定している。

■防犯カメラ設置費補助金 277万2千円

問 補助事業内容を伺う。

答 1台約10万円で、10地区程度を予定している。人通りが多い場所や、防犯の観点から必要性が高い場所に優先的に設置していく。

■作成業務委託 786万5千円

計画作成業務委託 1,498万9千円

問 どういった業務委託か内容を伺う。

答 作成業務委託は、新産業拠点整備事業に係る委託料で、(仮称)麻生IC周辺の産業用地の確保に向けた業務である。R6年度実施中の産業用地開発実現化調査の結果を踏まえ、事業区域や事業手法を整理し、開発事業者及び立地企業の募集要項づくりを行う。

計画作成業務委託は、地域連携拠点整備事業に係る委託料で、R6年度実施中の都市公園整備基本構想の策定業務及び民間活力導入可能性調査の成果を踏まえ、都市公園整備の具体化を目的として、事業スキームや整備・運営計画等の検討を行いながら都市公園整備基本計画の策定を行う。



建設部

■除草作業委託 250万円

問 R6年度予算614万円から大幅な減額になったが、例年通りの除草作業が実施できるのか伺う。

答 公園の除草作業の委託料であって、道路とは別である。3月補正予算で減額したため、実績見込みとして減額とした。

■公園遊具撤去工事 55万円

問 公園遊具の新設や改修はないのか伺う。

また、日の出地区の側溝蓋かけ予算がないが理由を伺う。

答 事業の適正化及び財政の健全化を含め、今回は削減となった。公園遊具の撤去は、長寿命化計画によって危険度があるものは順番に撤去しているためその分を計上している。

再問 日の出地区の側溝蓋かけは終了したという認識なのか伺う。

答 蓋かけは終了していないため、今後も続けていく。今回は財政健全化の関係で減額となった。



教 育 部

■児童送迎バス委託 4,416万2千円

債務負担行為 児童送迎バス運行業務委託（潮来小学校）
令和8年度～令和12年度 1億1,979万円

問 令和8年度統合した際に、児童送迎バスとしてどちらの委託料もかかるのか。

答 学校統合に伴う児童送迎にかかるバス運行の業務委託であるため、どちらの委託料も費用としてかかる。

■運動部活動外部指導員（会計年度任用職員）2人 226万5千円

問 R6年度と比較して44万円増額となった理由を伺う。

答 指導員は継続となるが、人事院勧告分の報酬が増額となった。

■水郷潮来シティレガッタ実行委員会補助金 100万円

問 シティレガッタは開催しないと伺ったが、負担金の内容を伺う。

答 全国市町村交流レガッタの出場クルーのためのバス代補助となる。



市 民 福 祉 部

■報償費 記念品179万3千円

問 事業内容を伺う。

答 R6年度同様に米寿・100歳以上の方に加えて、新たに喜寿の方へ記念品を配布する。

再問 R6年度は敬老会事業補助金として380万円であった。この事業を廃止して喜寿に記念品を配る事業としたということだが、廃止となった理由を伺う。

答 従来の事業に関して各区長にアンケート等で様々な意見を伺った。その中で、区の負担や、公平性、集まる場所がない、食中毒の危険等、事業見直しの意見があった。公平性を担保する上で、R6年度までの事業を廃止し、R7年度から喜寿の方へ記念品を配布する事業に変更した。

■妊娠出産者記念品 140万2千円 ブックスタート記念品 28万6千円

新入学児童記念品 376万2千円

問 R6年度と比較して減額となった理由を伺う。

答 妊娠出産者記念品は150人から120人、ブックスタート記念品は140人から120人、新入学児童記念品は180個から120個に変更し、実績見込みから減額した。



環境経済部・農業委員会事務局

■高齢者等ごみ出し支援業務委託 95万1千円

問 R6年度と比較して減額となった理由と利用者数を伺う。

答 R5年度の実績で積算したため。R6年度の利用者は26名である。

■地域活力創出事業費 負担金、補助及び交付金

問 道の駅いたこの指定管理料が計上されていないが理由を伺う。

答 指定管理料は協議の上で決定している。売上が上がったことなどからR7年度指定管理料は支払わないことで決定した。

再問 今後、指定管理料を支払うこともあるのか。

答 指定管理の更新があるため、R8年度以降はそこで決まる予定である。道の駅は好評を得ており、収益が上がる施設である。運営自体は民間業者のノウハウを使って、潮来市として指定管理料をどのように考えていくか検討する。





委員会審査

3月14日の委員会での結果を議会
最終日に各委員長が報告しました

教育福祉経済委員会

付託された案件：条例改正 1件
補正予算 4件

主な質疑

令和6年度潮来市一般会計補正予算(第9号)
〔所管科目〕

問 9款：教育費 5項：保健体育費 1目：保健体育総務費 18節：負担金、補助及び交付金 補助金 スポーツ合宿・大会助成金 △600,000円

今回、夏休み期間で合宿等が集中したため、対応しきれずに減額補正となったが、潮来市内に宿泊することが助成の条件か。

答 潮来市内に宿泊していただくことを助成の条件としている。

問 3款：民生費 3目：老人福祉費 18節：負担金、補助及び交付金 補助金 敬老会事業補助金 △2,643,000円 敬老回事業の実績は？

答 令和6年度の敬老会事業は23地区で実施しており、925,892円の支出となる。

再問 今回、予定している事業が少ないということだが、理由は？

答 市内66地区にアンケートを実施。60地区（回答率91%）から回答をいただいた。回答の中で、実施できなかった理由として「全体を集めるのが難しい」、「コロナ等の集団感染が発生した際の責任はもてない」等があった。

所管に関する質問

問 マイナンバーカードについて、本市の交付率は？

答 2月末現在の交付率は90.33%である。

問 マイナンバーカードを用いて住民票、印鑑証明が取れるが、その周知方法は？

答 令和4年度から1番窓口で「書かない窓口」として、システムを導入している。マイナンバーカードと暗証番号を打ち込むと交付ができる。他にマイナンバーカードや免許証を読み取って、申請書に自動記入できるシステムを導入している。周知方法は、システム導入時に周知している。他には、窓口に来ていただいた方にも、手順を教えながら周知している。

総務建設委員会

付託された案件：条例改正 7件
補正予算 3件

主な質疑

令和6年度潮来市一般会計補正予算(第9号)
〔所管科目〕

問 歳入 市税 軽自動車税

種別割 6,078千円増

車が増えたのか、13年を過ぎて重課税がかかる車が増えたのか伺う。

答 旧税率で賦課されている車が減り、新税率の車が増えたため。同時に重課税の車が増えている。台数はほぼ変わっていない。

問 7款：土木費 6項：住宅費 1目：住宅管理費

18節：負担金、補助金及び交付金

3つの補助金の事業内容を伺う。

答 ①大規模建築物耐震化支援事業は、国道51号、緊急輸送道路である国道51号沿いの耐震性を向上させるための支援事業で、対象は4戸である。②耐震診断補助金は個人の住宅で3件実施した。③若年世帯定住促進助成金は、新築される46歳未満の子育て・若年世帯の方への補助となっている。今年度は40件予定していたが35件であったため減額となった。

所管に関する質問

問 県道に関する要望は（センターラインを引いてもらいたい等）都市建設課で対応していただけののか。もしくは潮来土木事務所か。

答 県道なので県に相談していただくのがよい。都市建設課でも相談の受け付けはできるので、その後県へ連絡させていただく。

研修報告

研修の内容を報告します

☑ 議員研修会 ～企業誘致と民間連携によるまちづくり～

■実施日 令和7年1月17日（金）

■講師 デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社
森山 真稔氏（潮来市地域活性化起業人）

■内容 令和6年7月1日付で潮来市地域活性化起業人として潮来市企業立地戦略室へ着任しました森山真稔氏から「民間連携によるまちづくり」について講話をいただきました。先進地の事例を交えながら、潮来市の強みをふまえ、今後どのような戦略がとれるのか見直すきっかけとなりました。今後の企業立地についてもお話を伺い、議員と活発な意見交換を行いました。



☑ 教育福祉経済委員会視察研修

■視察先 茨城県神栖市

- (1) 鹿島共同可燃ごみクリーンセンター
- (2) 神栖市立第二学校給食共同調理場

■実施日 令和7年2月12日（水）

■内容 鹿島共同可燃ごみクリーンセンターでは、施設に関する説明を受けた後、各委員より稼働状況や熱エネルギーの利用状況など様々な質問があり、ご回答いただきました。また、神栖市立第二学校給食共同調理場では、施設見学後、給食を実食させていただきました。地場産業の食材や衛生管理、給食献立の計画や他の調理場との連携等について質疑を行い、職員及び管理栄養士の方から説明を受けました。



(1) 鹿島共同可燃ごみクリーンセンター



(2) 神栖市立第二学校給食共同調理場

議会日誌

議員が出席している行事等を紹介します

1月

- 6日 仕事始め式（議長）
- 7日 議会運営委員会（関係議員）
- 8日 千鳥会（議長）
- 9日 百里基地新春賀詞交歓会（議長）
- 10日 全員協議会
- 11日 潮来市新春賀詞交歓会
- 12日 二十歳のつどい
- 13日 出初式
- 15日 令和7年第1回臨時会
- 17日 議員研修
- 23～24日 県市議会議長会定例会（議長）
- 23日 悠々塾発表会（副議長）
- 27日 鹿行南部道路建設促進期成同盟会設立記念式典（議長）
- 30～31日 県東市議会議長会行政視察（議長）

2月

- 2日 潮音寺節分会法要（議長）
- 6日 市議会議員共済会代議員会（議長）
- 10日 議会運営委員会（関係議員）
- 14日 県市議会議長会議員研修会（関係議員）
- 18日 議会運営委員会（関係議員）
- 19日 総務建設委員会協議会（関係議員）
- 20日 教育福祉経済委員会協議会（関係議員）
- 悠々塾閉講式（議長）
- 21日 全員協議会、予算内示会
- 22日 稲敷市市政施行二十周年記念式典（議長）
- 23日 牛堀公民館まつり（議長）
- 津知公民館記念のつどい（議長）
- 26日 議会運営委員会（関係議員）
- 27日 国民健康保険運営委員会（議長）

3月

- 4日 令和7年第1回定例会開会
- 5日 春季グラウンドゴルフ大会（議長）
- 8日 文化講演会（議長）
- 10日 一般通告質問
- 11日 一般通告質問
- 市内中学校卒業式
- 12日 一般通告質問
- 13日 質疑・委員会付託
- 全員協議会
- 14日 総務建設委員会（関係議員）
- 教育福祉経済委員会（関係議員）
- 17～18日 予算特別委員会（関係議員）
- 19日 市内小学校卒業式
- 21日 区長会総会（議長）
- 24日 あやめこども園卒園式（議長）
- 25日 令和7年第1回定例会閉会
- ※議員有志で茨城厚生連へ要望書を提出



潮来市議会だより「みらい」No.198
発行日：令和7年4月24日

■発行責任者：議会議員 小峰 進 ■〒311-2493 茨城県潮来市社626 ■gikai@city.itako.lg.jp
■編集者：広報編集委員会 ■TEL 0299-63-1111 ■FAX 0299-77-9823



NEXT

次の定例会は
6月3日(火)
開会予定

会期日程は、ホームページをご覧ください。

傍聴してみませんか？

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されています。

議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひお越しください。

開催日当日、2階総務課で受付しています。

※基本的な感染症対策にご協力をお願いいたします。

動画でみる！ 市議会

あなたの住むまちで何が話し合われているのか、気になりますか？
会議の様子をライブ配信（生中継）・録画配信しています。スマートフォンやタブレットからでも視聴いただけます。ホームページからアクセスしてください。



▲動画サイト



今を担う私たちのために
未来を担う子どもたちのために

Public Relations

パブリックリレーションズ

本来の意味は
公共の・公衆の良好な
関係づくり・結びつき

親しまれる議会だよりをめざし「みらい」
の紙面づくりに取り組んでまいります。

議会を読もう

議会だよりは、年4回定例会（3月、6月、9月、12月）後の4月、7月、10月、1月に発行します。

各区で配布されたり、市内のコンビニ、銀行、公共施設（図書館や公民館）にもございますので、ぜひご覧ください。

表紙の説明

観音寺 小町桜

境内にある小町桜は、小野小町が眼病を患い各地をさまよい歩いていた頃、観音寺に祈願したところ、全快したのでお礼にシダレザクラを寄進したものとされています。現代の桜は三代目です。

編集後記

新年度がスタートしました。子どもたちも入学式・入園式を終え、夢と希望をもって、毎日頑張っていることと嬉しく思っております。

さて、議会だより「みらい」も今回で198号の発行となりました。この「みらい」を発行する度、魅力ある議会だよりを念頭に置きながら、より多くの市民の皆様にご愛読いただけますよう、我々議会広報編集委員会としても取り組んでおります。市民の皆様にとってこの議会だより発行を楽しみにして下さるまでには、まだまだ、課題は山積しております。議会広報委員一同、頑張つてまいりますので、今後とも議会だより「みらい」のご愛読をよろしくお願いいたします。

議会広報編集委員 志村 一

議会広報 編集委員会

委員長	和田 直子
副委員長	吉川 利一
委員	黒須 俊行
	鶴田 正信
	志村 一
	兼平 直紀

潮来市議会

検索

UD FONT

市議会HP

